

授業科目名	剣道指導論演習		授業形態	演習	授業科目区分	応用科目 (スポーツ総合科学)
担当教員名	前阪 茂樹				補助担当者名	
単位数	2 単位		履修年次	-	受け入れ人数	-
授業の概要 及び達成目標	剣道に関する文献・資料・映像などを分析し、技術の構造についての講義及び演習を進める。その中で、剣道の持つ歴史性・文化的特性・求道性・競技性などを俯瞰しながら、剣道の持つ教育的特性を考究し、それに関する高度な専門知識・技術・指導の教育研究能力を身につけることを目標とする。					
成績評価の方法	■出席状況（30％） ■授業への取り組み状況（50％） ■レポート等の提出状況（20％）					
成績評価の基準	上記事項を踏まえて総合的に評価する。					
テキスト、教材 参 考 書	近代剣道名著大系全集（同朋舎出版） 近代剣道書選集(本の友社） 剣道指導要領（全日本剣道連盟） 武道学研究（日本武道学会）					
履修条件・ 関連科目	討論内容がより専門的になるため、剣道有段者が望ましい。		備考(教員メッセージ含む)			
オフィス・アワー	随時：506研究室					
授業計画						
回	担当教員名	授業内容			授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)	
1	前阪 茂樹	イントロダクション 剣道史の俯瞰				
2	〃	打突技術の構造論				
3	〃	打突技術の構造論（発表と討議）			レポート	
4	〃	剣道術理（用語論）				
5	〃	剣道術理（発表と討議）			レポート	
6	〃	基本指導の研究（団体教授法）				
7	〃	基本指導の研究（発表と討議）			レポート	
8	〃	試合・審判法演習				
9	〃	試合・審判法演習（発表と討議）			レポート	
10	〃	形の学習論				
11	〃	剣道形演習				
12	〃	剣道形演習			レポート	
13	〃	日本刀及び模擬刀の取り扱いに関する講義と演習				
14	〃	道場（施設）管理・用具論 討議と演習				
15	〃	まとめと評価				